

新ブランド「ミドリウム」展開

情報通信のコネクト

屋上緑化事業に参入

ーもそのひつし。もと
RA/
募集する。詳細は同社
(電話03・32230
まで。
・1020、中野氏)

情報通信事業を手掛けるコネクト(大阪

府、小田島龍一CEO)は、屋上緑化事業に参入、個人・法人向けにサービスを展開する新ブランド「ミドリウム」を立ち上げ、11

日、ちよだプラットフォームスクウェアの屋上庭園販売、法人向けには薄層緑化セタムなど敷地に対応したデザイン、植物などの総合プロデュース事業を開始する。

ミドリウムは、中国四川省の豊富な栄養を含んだ泥炭を使用、少量の土で植物が生育する効果があり、従来の屋上庭園に比べ、薄い土厚(芝なら7センチ、野菜で10センチ)で野菜や植物が栽培できるようになってきている。

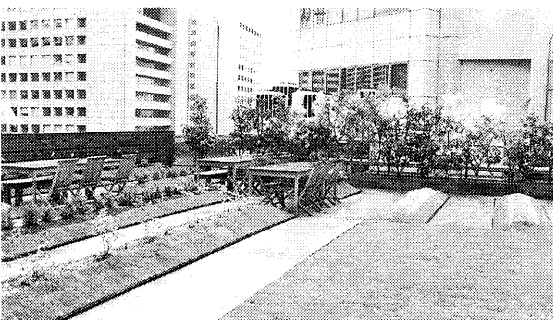
この現状を踏まえ、小田島CEOは、ハウスメーカーとのタイアップを考え、車庫の屋上スペースなどの家屋デッドスペースに、ミドリウムを使用することで自然を増やし、町の緑化につなげたい、と企業の社会的貢献を踏まえた経営方針を打ち出した。

ームスクウェアで同事業の全貌を明らかにした。

ミドリウムの事業は、簡単に屋上で庭が作れる「はじめてのミドリウムキット」(定価1万3400円)を個人向けに

今回、会場となったちよだプラットフォームスクウェアも、同事業が利用され、ガーデンコンシェルズ・山内美陽子氏製作のデザインガーデンが公開され、

ミドリウムが制作したちよだプラットフォームスクウェアの屋上庭園



個人向けに

陽子氏製作のデザイン

踏まえた経営方針を打ち出した。